

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは2022年9月をもって第127期第2四半期を終了いたしましたので、連結決算概況についてご報告申し上げ、ご理解賜りたいと存じます。



2022年12月 代表取締役社長 **佐口敏康**

■ グンゼにしかできない「こちよさ」をお客さまに提供し続け、「社会貢献」に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における日本経済は、新型コロナワクチン接種の進展等により社会経済活動が正常化する中で、回復基調で推移しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う原燃料価格高騰に加えて、急速な円安進行による物価上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

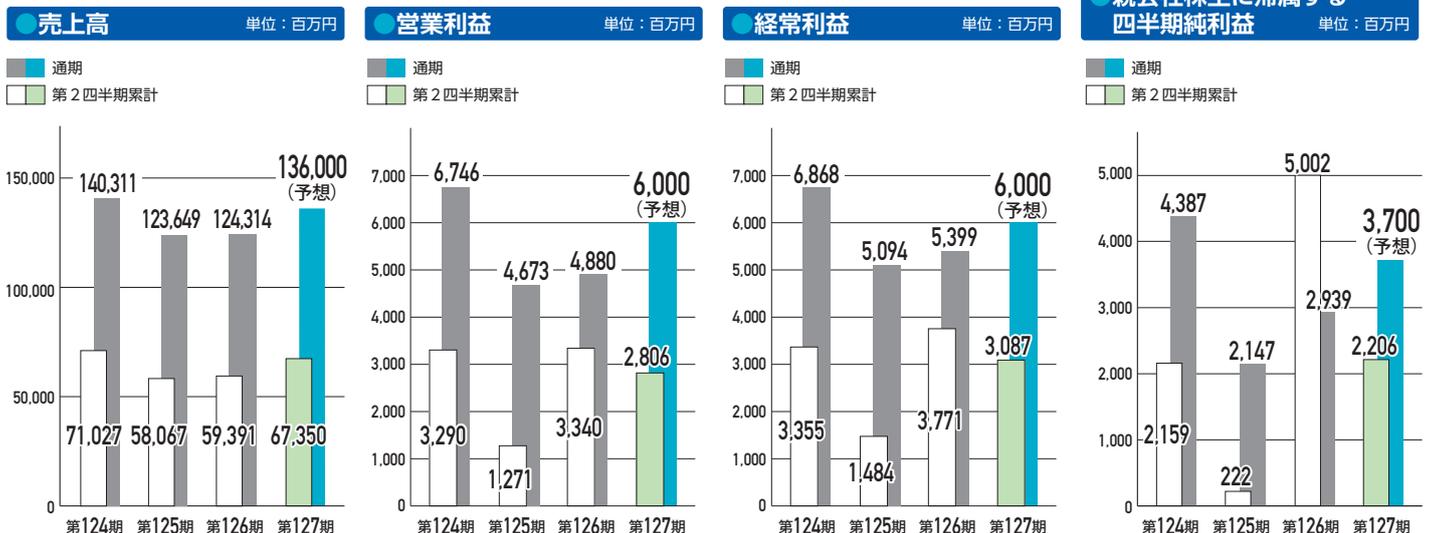
このような事業環境のもと、当社グループでは、中期経営計画「VISION 2030 stage1」の初年度にあたり、「新たな価値の創出」「資本コスト重視の経営」「企業体質の進化」「環境に配慮した経営」の4つの基本戦略への取り組みを進めました。各事業の概況としては、

機能ソリューション事業は、原燃料価格高騰の影響を受けましたが、概ね堅調に推移しました。アパレル事業は、販売回復の傾向にある中で、急激な円安や原料価格の高騰により、収益性が悪化しました。また、ライフクリエイイト事業は、遊休地の再開発により増収となりました。

不透明な状況はまだありますが、当社はこれからも、お客さまに“こちよさ”を提供し続け、社会に貢献する企業を目指してまいります。

株主の皆さまには、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

決算ハイライト



連結業績のご報告

連結貸借対照表(概要)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2021年9月30日現在	2022年9月30日現在
資産の部		
流動資産	79,917	81,822
固定資産	80,183	82,394
有形固定資産	60,030	61,593
無形固定資産	1,430	1,201
投資その他資産	18,721	19,600
資産合計	160,100	164,217
負債の部		
流動負債	30,694	35,075
固定負債	12,840	12,061
負債合計	43,534	47,136
純資産の部		
株主資本	111,811	109,267
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,677	6,566
利益剰余金	87,495	80,949
自己株式	△8,433	△4,320
その他の包括利益累計額合計	2,867	5,806
新株予約権	158	131
非支配株主持分	1,727	1,875
純資産合計	116,565	117,080
負債および純資産合計	160,100	164,217

流動資産 前年同期比19億円増加

受取手形、売掛金及び契約資産31億円の増加、棚卸資産18億円の増加、前渡金及び未収入金等その他16億円の増加、現金及び預金48億円の減少などにより、全体では19億円の増加となりました。

固定資産 前年同期比22億円増加

建設仮勘定(有形)等その他26億円の増加、建物及び構築物(純額)6億円の減少などにより、全体では22億円の増加となりました。

流動負債 前年同期比43億円増加

設備購入支払手形等その他37億円の増加、支払手形及び買掛金12億円の増加、商業ペーパーを含む短期借入金5億円の増加、未払法人税等13億円の減少などにより、全体では43億円の増加となりました。

固定負債 前年同期比7億円減少

長期リース債務等その他12億円の増加、退職給付に係る負債5億円の増加、長期借入金22億円の減少などにより、全体では7億円の減少となりました。

純資産 前年同期比5億円増加

親会社株主に帰属する純利益の計上1億円、為替換算調整勘定26億円の増加、配当金の支払24億円などにより、全体では5億円の増加となりました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	59,391	67,350
売上総利益	19,329	20,013
販売費及び一般管理費	15,988	17,206
営業利益	3,340	2,806
営業外損益	430	280
経常利益	3,771	3,087
特別損益	3,626	58
税金等調整前四半期純利益	7,397	3,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,002	2,206

売上高 前年同期比13.4%増加

機能ソリューション事業で37億円の増収、アパレル事業で26億円の増収、ライフクリエイティブ事業で15億円の増収となり、全体では79億円の増収となりました。

営業利益 前年同期比16.0%減少

機能ソリューション事業で3億円の増益、アパレル事業で5億円の減益、ライフクリエイティブ事業で微増益となり、全体では5億円の減益となりました。

(注) 各セグメントの合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値であり、全体の合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整した数字となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

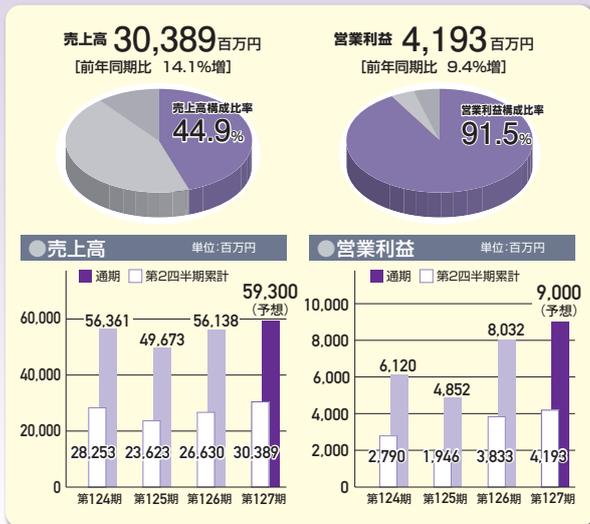
科目	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,444	△2,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,423	△2,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,800	△360
現金及び現金同等物に係る換算差額	402	443
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,469	△4,641
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	456	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,643	9,828

営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比54億円減少

税金等調整前四半期純利益31億円、減価償却費28億円、棚卸資産の増加21億円、法人税等の支払額19億円、売上債権及び契約資産の増加16億円、仕入債務の減少7億円などにより20億円の支出となり、前年同期比54億円の減少となりました。

セグメント状況

機能ソリューション事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

プラスチックフィルム分野は、包装用フィルムが堅調に推移しましたが、原料価格高騰の影響を受けました。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向け製品の需要増や、オフィス回帰に伴うOA市場向け製品の回復により堅調に推移しました。電子部品分野は、中国向けタッチパネルが堅調に推移しました。メディカル分野は、新製品の市場展開に加えて中国向けが堅調に推移しました。

〈プラスチックフィルム分野〉



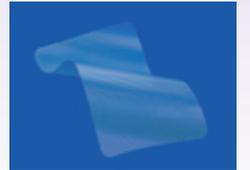
野菜やお菓子などの包装に使われているOPPフィルム

〈エンジニアリングプラスチック分野〉



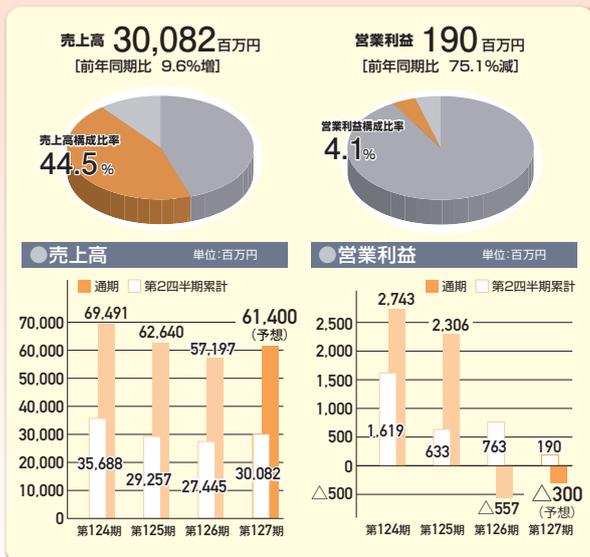
押出成型技術、材料加工技術による様々な用途への対応

〈メディカル分野〉



患者さまのQOL向上を目指したシート状吸収性癒着防止材(テナリフ)

アパレル事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

アパレル事業全体では、緊急事態宣言等の行動制限解除による市況回復や、EC、SPAルートが好調に推移し売上は拡大しましたが、原料高騰と急速な円安影響を受け、収益性が悪化しており価格改定を進めております。インナーウェア分野では、差異化ファンデーション群や、フェムテック関連商品が好調に推移しました。レッグウェア分野は、前年に比べて増販も、収益性の改善が課題となっております。

〈インナーウェア分野〉



かっこイイ、ここちイイ、ずっとイイ「e-BOXER」



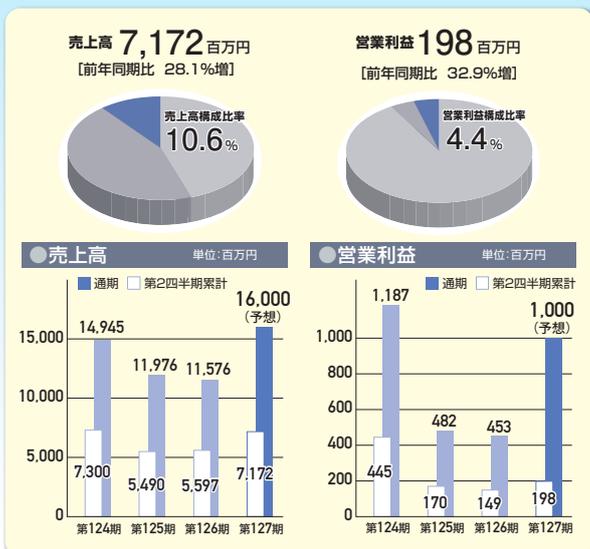
オーガニック生まれのインナー「Fitte」

〈レッグウェア分野〉



デザインで魅せるファッションレギンス「Tuche」

ライフクリエイティブ事業



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

不動産関連分野は、遊休地再開発プロジェクトの売上計上により増収となりました。行動制限の解除により、ショッピングセンター事業とスポーツクラブ分野は、ともに回復傾向にあります。

〈不動産関連分野〉



グンゼタウンセンター つかしん(兵庫県尼崎市)

〈スポーツクラブ分野〉



グンゼスポーツ

株主優待について

9月末 / 中間期のみ

保有株数と保有年数に応じた優待額を付与、優待額の範囲内でご希望の優待サービスと交換等いただけます。

クーポン

グンゼ公式通販【グンゼストア】でのお買物の際にご利用いただけるクーポンを発行

贈呈品

優待額の範囲内で好きな製品と交換

寄付

優待額1,000円を1口として、子供の未来応援基金へ寄付

年2回 毎年9月末・3月末

さらに **30%** 割引優待

通販カタログ「セlestail」で割引優待にてご購入いただけます

※カタログはイメージです



保有株数	株式保有年数		
	3年未満	3年以上5年未満	5年以上
100~299株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
300株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

※2022年度中間期の株主優待は2022年9月30日を基準とした保有株数と保有年数に基づき実施いたします。
 ※保有年数は、毎年9月末日を基準日とし、同一株主番号で継続して株主名簿に記録されている年数です。
 (当社株式をすべて売却した後に、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。)

株式の状況 (2022年9月30日現在)

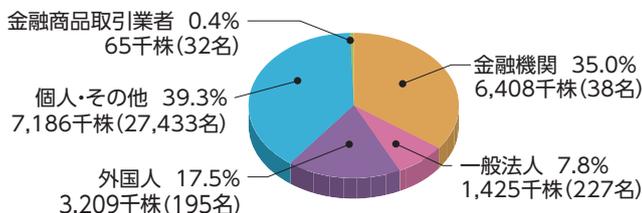
発行済株式の総数 18,293,516株

◎自己株式 (2022年4月1日から2022年9月30日)

取得 0.4千株 (1百万円)
 処分 18千株 (80百万円)
 期末 999千株 (4,320百万円)

◎単元株式数 : 100株

株主数 27,925名



(注)円グラフは発行済株式数に対する保有割合

大株主一覧 (上位10名の株主)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	2,203	12.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,712	9.90
株式会社京都銀行	587	3.40
株式会社三菱UFJ銀行	475	2.75
グンゼグループ従業員持株会	464	2.68
全国共済農業協同組合連合会	451	2.61
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	299	1.73
第一生命保険株式会社	290	1.68
株式会社GSIクレオス	271	1.57
BNY FOR GCM RE GASBU	219	1.27

(注)当社は、自己株式999千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社の概況 (2022年9月30日現在)

社名 グンゼ株式会社
 設立年月日 1896年8月10日
 資本金 26,071百万円
 従業員 1,657名(単体) 5,632名(連結)
 本店 京都府綾部市青野町膳所1番地
 大阪本社 大阪市北区梅田2丁目5番25号
 ハービスOSAKAオフィスタワー22階
 TEL(06)6348-1313
 東京支社 東京都港区東新橋1丁目9番1号
 東京汐留ビルディング15階
 TEL(03)4485-0000

※取締役、監査役、執行役員などの変更はございません。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月下旬
 株主総会・期末配当基準日 3月31日
 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場取引所 東京(プライム市場)
 証券コード 3002
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 同連絡先 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL: 0120-094-777(通話料無料)

GUNZE

ホームページはこちらから

グンゼ

検索

